

第2号議案 2017年度運動方針に関する件

1. 総合労働条件改善闘争の取り組みを推進します

2018年闘争は、労働協約改定年にあたることから、2年サイクルの総合労働条件改善闘争として位置づけ、3つの柱である賃金・一時金・退職金などの「生活改善」の取り組みに加え、「雇用」「ワーク・ライフ・バランス」を柱とした労働協約関連課題、政策・制度課題などを中心とした取り組みとします。

具体的な闘争方針については、2018年1月の幹事会開催時に第104回中央委員会議案オルグで説明します。また、地区闘争会議を2月と4月に開催し、要求の立案および闘争結果と課題について意見交換を行います。

2. 最低賃金の改善に向けた取り組みを強化します

これまで、法定電機最低賃金は、労使のイニシアティブを発揮し、「電機産業で働くすべての労働者の賃金の底上げ」、「賃金ダンピングを阻止し、公正競争の確保による電機産業の発展」に向けた取り組みを行ってきました。加えてこの間、雇用形態の違いによらず、職務に応じた待遇の確保を求められています。そこで、企業内最低賃金の水準を「法定電機最低賃金」に連動させることにより、非正規労働者のみならず未組織労働者にも法的な拘束力を持つ入口賃金を設定する取り組みを強化・推進します。法定地域別最低賃金についても、加盟組合の協力と連合との連携を図って取り組みを進めます。

3. 総合的なセーフティネットの充実に努めます

(1) 「くらしの法律相談」の取り組み

組合員のセーフティネットの一環として、荒巻弁護士による「くらしの法律相談」と司法書士の「しずおかりぶあらいぶ」と顧問契約を継続し、引き続き実施します。顧問弁護士・顧問司法書士の委嘱については、第4号議案で提案します。

(2) 電機連合ハートフルセンターの取り組み

ハートフルセンターはプロのコウンセラーが、組合員やその家族からの心の相談をはじめ、総合的なメンタルヘルスケアの窓口として広く活用されています。引き続き加盟組合に対するハートフルセンターの活用PRに努めます。

4. 自主福祉運動の強化に向けて共済制度の充実・発展を図ります

(1) 自主福祉を基本とした共済制度の展開

「電機共済加入促進会議」を11～12月に開催し、2017年の共済推進の方針や制度改善などについて周知を図ります。

「ねんきん共済」「けんこう共済」「ファミリーサポート共済」そして新入社員向けの「フレッシュアッププラン」などの制度周知を図り加入促進を進めます。引き続き共済センターと連携を取りながら(株)マックス推進役との加盟組合への訪問活動と、各組織の理解を得ながら目標達成をめざします。

(2) 労金・全労済運動とユニオントラベルの連携の強化

労金・全労済への派遣役員と連携を密にして、産別として組合員の安心・安全を保障する自主福祉活動に取り組みます。

労金活動については「書記長会議」、全労済活動については「電機静岡全労済運営委員会」を開催し、運営委員会幹事による同行オルグなどを計画していきます。

また、ユニオントラベルについては周知・利用促進を図ります。

5. 男女平等参画社会およびワーク・ライフ・バランスの実現に向けて取り組みます

「男女参画委員会」の活動も15年目を迎えます。充実した会社人生を送るにはワーク・ライフ・バランスの実現、働き方改革が必要であり、地協としての運動の柱として取り組んでいきます。電機連合「地協男女平等担当者会議」や連合静岡「男女共同参画推進委員会」に参加して、積極的な意見反映に努めるとともに、他地協とも活動交流を図りながら活発な活動展開をめざします。

また、引き続き二役会を開催し「意義とねらい」を浸透させ委員会の内容充実を図り、委員が各組織に持ち帰り活動を積極的に行い、組織での活動の広がりを確認しながら委員会を進めていきます。それぞれの課題に対し問題意識を持ち情報を共有しながら委員の育成にも努めていきます。

6. 社会貢献活動に取り組みます

加盟組合の協力による冠行事などのボランティア基金活動をもとに、引き続き「カンボジア支援活動」「腎臓バンク推進活動」「盲導犬育成支援活動」「フードバンクふじのくに」に取り組みます。

カンボジア支援活動については13年が経過し、これまで8回にわたり計84名を現地に派遣し133基の井戸を寄贈してきました。

今回の12月に予定している第9次井戸掘りボランティアについては、支援活動の問題点、今後どう取り組んでいくのが良いのかなどを整理し、それらを加味した活動展開を図っていきます。また、現地の孤児院『だるま愛育園』の支援に関しても、国内の支援団体“こどもスマイル”が「役目を終えた」とサポートを終了、解散したことを受け、当地協としても第9次活動で現地を訪れた際、施設の活動内容や状況を判断した上で支援継続をしていくか判断をしたいと考えております。

7. 選挙に万全の態勢で取り組みます

衆議院がいつ解散して総選挙になるかわからない状況ですが、それぞれの選挙区について候補者と連携を取り準備を進めます。電機連合公認候補の茨城5区選挙区の「浅野さとし」の支援も強化します。

また、第25回参議院議員選挙（2019年7月）に向けた取り組みを開始します。

上部団体から推薦要請のあった各級選挙の立候補者には、速やかに推薦手続きを行い、当選に向けて支援協力を努めます。



矢田参議院議員と浅野さとし候補

8. 政策・制度実現のため政治活動の取り組みを強化します

(1) 地域における政策・制度実現に向けた政治活動の推進について

議員団活動を推進し、地域での政策・制度課題に取り組みます。なお、各地区協の幹事会などで組織内議員報告会を開催します。また地協議員団会議を開催しながら連携を取り、政策制度要求実現に向け取り組みます。

(2) 電機連合静岡政治活動委員会の会員募集を実施します

地協常任幹事会役員と地協直加盟組合の協力を得て、電機連合静岡政治活動委員会の会員募集に取り組みます。

(3) 民進党サポーター募集の取り組み

民進党を支援する取り組みの一環として、電機連合からの要請に応じて、引き続きサポーター登録に協力します。

9. 平和運動への取り組みます

連合の平和行動（沖縄、広島、長崎、根室）に参加します。具体的な取り組み内容については、電機連合からの参加要請をもとに加盟組合に展開します。

10. 組織拡大の取り組みを強化します

1000万人連合実現プランを踏まえ、地協幹事会などで進捗状況を確認しながら加盟組織と連携して組織拡大を計画的に推進します。

加えて、労連事務局長会議に参加し横・縦の取り組みを連携しながら加盟組合企業の未組織グループ子会社・関連会社のアプローチを随時進めて行きます。

また、連合静岡とも連携を強化して、「組織拡大委員会」、「組織拡大プロジェクト」に参加し情報を共有し取り組みを進めます。

11. 中堅・中小労組への支援を強化します

通年のオルグ活動を通じて中堅・中小労組への支援を積極的にサポートしていきます。特に雇用合理化問題が発生した際は、迅速で実効性のある対応を行えるよう努めます。また、闘争時は地協地区闘会議の開催と巡回オルグを実施して当該労使による決着が図れるよう支援します。

12. 東海ブロックの連携を強化し積極的に活動に参画します

電機連合東海ブロックにおける各種会議ならびに行事へ積極的に参画します。また、ブロック別の本部三役巡回オルグにも対応します。

(1) 2017年 9月 6日(水)～7日(木)	最低賃金担当者会議	(愛知地協設営)
(2) 2017年 9月 25日(月)	議長会議	(静岡地協設営)
(3) 2017年 10月 2日(月)～3日(火)	事務局長会議	(静岡地協設営)
(4) 2017年 11月 17日(金)～18日(土)	ユニオンセミナー	(三重地協設営)
(5) 2017年 12月 1日(金)～2日(土)	共済会議	(岐阜地協設営)
(6) 2018年 1月 30日(火)～31日(水)	フォーラム議員団会議	(岐阜地協設営)

13. 地域の労働運動・自主福祉活動の活性化に向けて継続的に取り組みます

連合静岡と連携して政治活動、最賃審議、組織拡大、男女参画推進など地域の労働運動に取り組みます。

また、労福協活動および福祉事業団体の運営も含めて役員派遣の要請に積極的に対応し、自主福祉活動の一層の発展をめざした取り組みを進めます。